

飯能西中だより



天覧山 10月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和3年度 第7-1号
令和3年10月4日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

皆様に支えられ 飯能西中学校は今年50周年の節目を迎えます。

正しいことを行う勇氣

校長 中村 公一

お彼岸を過ぎてようやく過ごしやすい季節となってまいりました。夏の間、感染の勢いが止まらなかった新型コロナウイルス感染症のせいで学校生活には様々な影響が出てしまいました。しかし生徒達にはこれらとしっかり向き合い、未来に向かって引き続き頑張りたいと思っています。

さて、私はその仕事柄、賞状を手渡す機会が多いのですが、私自身がこれまでにいただいた賞状は2枚だけです。1枚は理科の自由研究。そしてもう1枚は地区の広場を掃除したことへの感謝状です。私の父はこの感謝状のことを他のどの賞状よりも価値があると言って大事にしてくれていました。

私が小学6年生のときの事です。当時私の住んでいた団地にも育成会や子供会の組織があり、夏休みのラジオ体操のあとは子供会で公会堂（ラジオ体操やクリスマス会など地域の催し物をする集会所です）の掃除をしていました。その年の8月の子供会で、夏休みが終わった後も毎週日曜の朝にゴミ拾いや草取りを続けようということになったのです。誰が言い出したのか、どのように決まったのかはもう覚えていません。けれども2～3週目になると集まる子どもの数が減り、ある朝、私以外誰も来なくなってしまったのです。翌週も誰も来ませんでした。翌々週、私は行くのを止めようと思いました。いつまで経っても私が家にいる事を不審に思った父に問い詰められ、私は咄嗟に「どうせ誰も来ないのだから行くだけ無駄でしょ」というような事を言ったと思います。すると父はみるみる顔色が変わりものすごい勢いで叱られました。「今、お前は無駄と言ったが、それは、そもそもお前にもやる気が無いからだ。一人でもゴミを拾えばその分だけきれいになる。無駄だなんて事はない。決まったことは最後までやり抜かなきゃだめだ。人のせいにせず、正しいことを最後までやる勇氣を持ちなさい。」と言われたのです。

私は泣きながら公会堂に向かいました。何もせずに帰りでもしたらまた父に叱られます。私は渋々ですが、ゴミを拾ったり、草を抜いたりして家に帰りました。父の言うことは確かに正論でした。けれども「僕だけがいけないわけじゃないのに、なんで僕だけがこんな目に遭うのだろう」という悔しい気持ちと、日曜の朝に一人で公会堂の広場でゴミ拾いをする自分の姿が周りからはどのように見えているのだろうという恥ずかしいような気持ちでいっぱいでした。

それから数週間。私は嫌々ながらも公会堂のゴミ拾いに出かけました。けれども正しいことをしているはずなのにこんな嫌な思いをしなければならぬのがどうしても納得できません。そこで私は心の中にある悔しさや恥ずかしさを打ち消すため、自分自身を正論で言い聞かせることにしたのです。確かに私は悪いことはしていません。むしろ正しいことをしているのですから。こうして公会堂の掃除が、私の日曜の朝の習慣となっていたある日の事です。公会堂の広場でゴミ拾いをしていた私に、区長さんが声をかけてくださったのです。日曜の朝、子どもが一人で掃除をしているのが前から気になっていたのだそうです。そしてこのあと、私は区からの感謝状をいただくことになったのです。

コラム欄に紹介したのはリンカーンの有名な言葉です。失敗する恐れに立ち向かうときよりも、正しいことをしようとするときのほうが、より大きな勇氣や強い心を必要とするのだというのです。このように正しいことというのは、それを実行するのに困難を伴う場合がよくあります。けれどもその困難と向き合って乗り越えた経験は、今の私の支えとなってきていることに間違いはないと思います。

“It often requires more courage to dare to do right than to fear to do wrong.”

Abraham Lincoln

誤った行動を恐れるよりも
敢然と正しい行動に挑むほうが
勇氣を要することが多い

エイブラハム・リンカーン

ちょっとずつの成長の成果

この夏に開催された東京オリンピックで女子柔道70キロ級の金メダルを獲得した新井千鶴選手のことを覚えているでしょうか。オリンピック初出場で金メダルを獲得した新井選手は埼玉県寄居町の男衾中学校の出身です。7歳から柔道を始め中学卒業後は児玉高校に進学して柔道を続け、その後社会人選手として地道に成績を伸ばしてオリンピックへの出場資格を手に入れました。彼女の母校である男衾中学校は私の家の近くにあるためその前を通ることがよくあるのですが、新井選手が卒業した後も、各種大会で優勝する度に、彼女の活躍を讃える横断幕が中学校の壁面に張り出されていたため、新井千鶴という名前だけでは何年も前から知っていました。オリンピックのあと男衾中学校の校長先生に早速お祝いの電話をかけたのですが、その際に新井選手はどんな中学生だったのかを伺うことが出来ました。彼女は勉強でも委員会の仕事でもやらなければいけないことは手を抜かずに地道にやり抜く真面目な生徒だったようです。また大変な負けず嫌いで勝ちたい一心で練習にも熱心に打ち込んでいたそうです。とにかく目の前にある小さな目標から目を背けずにコツコツと努力を積み重ねることで強くなっていったようです。毎日ちょっとずつの成長を続けていった結果がオリンピックでの金メダル獲得だったのです。

ジェームズ・アレンという作家は「人間は環境を改善することを切望するが、自分自身を改善しようとはしない」と言いました。こうなりたいと願っているだけで、自ら変わろうとはしない人が多いという事なのでしょう。努力をせずに成功を願っているだけでは何も変わりません。まずは自分自身が変わること。自分自身が少しでも成長することが大切なのだと思います。

少しでも成長をしよう

毎日、0.1%成長するだけでも
365日続ければ
1.44倍の成長になります
毎日、0.1%手を抜くだけで
365日続ければ
0.69倍の成長で終わってしまいます

校長講話から

正しいことをするには 困難をとまいません

はずかしかったり
孤独だったり
そればかりか
批判を受けたり
弱みをせめられたり

では やめますか

校長講話から

少しでも成長しましょう

生徒の皆さんへ

1年生の数学なのですが、 a の0.1%は $0.001a$ と表せたのを覚えているでしょうか。これをもとにして考えれば a の0.1%増しは $1.001a$ と表せるのが思い出せるはずです。更に $1.001a$ の0.1%増しは $1.001a$ に更に1.001を掛ければいいので 1.001^2a となります。ですから0.1%増しを365回続けていったら $1.001^{365}a$ と表せるのですが、分かったでしょうか(分からないと困るのですが)。

1.001^{365} を計算すると1.44025131342...となりますが、iPadの計算機で簡単に計算できるのでやってみてください。いずれにしてもこのように考えると、毎日、前の日よりも0.1%ずつ成長していけば1年後にはおよそ1.44倍になるということが計算で求められます。たった0.1%の違いが1年後には1.5倍近くの差になって表れるのです。では10年続けたら？計算してみてください。

緊急事態宣言が解除されました

緊急事態宣言が解除され、今月から徐々に学校生活のスタイルを変えていきます。部活動も再開されますが15日までは平日のみ2時間までの活動とし、校外での活動はありません。また、学校生活においては正しいマスクの着用と手洗いの励行の他、距離を確保しての生活はこれまで通り続けなければなりません。緊急事態宣言が解除になったからといって安全になったわけではないのです。実際に近隣の小中学校でも数名の新規感染者が出ています。中高生でも重症化したり後遺障害が残ることがあるそうですから、もう2年前の生活には戻れないものと思って自分の身を守る生活をしましょう。

○ 10月の主な行事予定 ○

1日(金) 3年生保護者会	14日(木) 3年生4市テスト
5日(火) 学校朝会	20日(水) 埼玉駅伝入間西部予選会
6日(水) テスト前諸活動停止期間開始	26日(火) 弁当持参日
11日(月) 中間テスト1日目(給食無し)	29日(金) 3年生修学旅行 31日まで
12日(火) 中間テスト2日目	2年生体育祭代替行事